

# 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 10 月 1 日

事業所名 コペルプラス 戸田公園教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9		・プレイルームで行う粗大運動は他のお子様と被らないように時間をずらしています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	9			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	・お子様に合わせて机と椅子を２種類用意しています。 教室のドアの色が分かれていますので分かりやすくなっています。教室全体としては段差が少なくなるよう配慮しています。	・２階のためエレベーターがあると良いですが、構造上は難しく、螺旋階段を使用して通所していただいています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9		・毎日の掃除を丁寧に行っています。 プレイルームに関しては朝と昼２回行っています。 ・合間の清掃や環境設定を配慮しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	1		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9		・昨年の評価表に基づいて改善出来ることは対応をしました。	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		9		(第三者評価実施なし)
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		・研修の機会を多く設けています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9		・児童発達支援管理責任者が作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9		・決められたツールを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9			

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9		・支援計画を確認してから提供記録のプログラムを作成しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9		・ベースとなるプログラムに加えて、モニタリング等で検討した支援を保護者の方に了承をいただき個別支援を行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9		・前回のレッスンと同じ教材にならないよう指導員間で共有をしています。	

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	9			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9		・前回担当した職員に聞き取りをしてからプログラムを作成する等、連携を取っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9		・気付いた点や保護者からご相談があった際は、児童発達支援管理責任者や主任に共有しています。 ・引継ぎを行う等、メモを残すようにしています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9		・サービス提供記録にその日の様子を記載しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9		・お子様1人1人モニタリング会議を行い、保護者の方と支援計画について相談しています。モニタリング会議に参加できない場合は書面にて支援内容について提出しています。	
関係機関や保護者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		・児童発達支援管理責任者、指導員で出席出来るよう調整しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9			

との連携関係機関や保護者との連携	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		9	該当するお子様は通所していません。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		9	該当するお子様は通所していません。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		・保育所等訪問支援のご要望があった際は連携を行っています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9		・ご希望があった際は移行支援シートを記載してお渡ししています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9			
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		9		

	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		9		・開催日時を把握していないため参加しておりませんが、今後は日付を確認し、積極的に参加させていただきたいと思っています。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		9		・今年度の実施はしていません。来年度移行検討をしていきます。
保護者へ	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9		・契約時、法改定があった場合は改めて説明を行っています。	

の 説 明 責 任 等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9			
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9		・その場で対応させていただくことや、後日お答えをするようにしています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		9		
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		・ご希望があった場合は相談の場を設けています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9		・イベント等がある際は、LINE での通知や教室内にチラシを配布・提示しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9		・個人情報は個別ファイルにまとめて鍵付きの書庫に保管しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		9		
非 常 時 等 の 対 応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9		・毎月避難訓練を実施しています。 職員間では、マニュアルの確認や会議等を開いて共有を行っています。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9			

	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9		・服薬やてんかん発作の情報については事前に聞き取りしたものを個人ファイルに残しています。	予防接種の予定は把握してありません。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		9		事業所での食事提供を行っていないため対応していません。 食べ物アレルギーがあるお子様は事前にお聞きし、持ち帰りのお菓子を提供をする場合はアレルギーに配慮し、配布する際にもお声がけをしています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		・他教室のヒヤリハットも含め、事業所内で共有しています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。